



ほうき

議会だより

第**68**号

2022年
1月発行



植松神社(番原)初詣

おもな内容

- 一般会計補正予算(第6号) 2~3ページ
- 全員協議会 4ページ
- 請願・陳情 5ページ
- 委員会活動報告 6ページ
- 一般質問 7~15ページ
- 議会の虫めがね・編集後記 16ページ

人の動き

	令和4年1月1日現在	前年同月比
人口	10,624 人	△150人
(男)	5,111 人	△49人
(女)	5,513 人	△101人
世帯数	3,866 世帯	+16世帯

伯耆町議会へのお問い合わせ、ご意見をお待ちしております！

伯耆町ホームページから、「議会の情報」→「議会事務局」ページ項目最下部
「オンラインによるお問い合わせ、ご意見はこちら」に進んでいただくと送信できます。



www.houki-town.jp/

伯耆町

検索

伯耆町 一般会計補正予算(第6号)

原案可決 (令和3年12月14日)



補正前 80億1,400万円
補正額 2億3,100万円
補正後 82億4,500万円

障害福祉サービス費 支給事業

2,433万円



当初の見込みより、障がい福祉サービス受給量が増えたため

歳出 (主なもの)

新型コロナウイルスワクチン 接種体制確保事業

1,972万円



1・2回目接種に引き続いて追加接種(3回目)の体制を確保するため

新型コロナウイルスワクチン 接種対策事業

4,974万円



1・2回目接種に引き続いて追加接種(3回目)を実施するための

農業経営収入保険料等 緊急支援事業(米価下落対策)

400万円



景気の低迷等により、米価が下落している状況に対応するため、農業経営収入保険および農作物共済の農家負担分を補助するため

子育て世帯への 臨時特別給付金支援事業

7,959万円



新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する一時金支給のため

鬼の館長寿命化等 改修事業

330万円



鬼の館広場の駐車場整備のための測量委託料

町内遺跡文化財 調査事業

112万円



調査箇所の追加による施掘調査のため

議案等に対する各議員の賛否 (○賛成 ×反対)

令和3年12月定例会

議案番号	議案名	議員名(議席番号順)													
		大床桂介	上田博文	片岡千明	長谷川満	杉本大介	乾裕	永井欣也	杉原良仁	一橋信介	渡部勇	細田栄	幅田千富美	大森英一	勝部俊徳
67	伯耆町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
68	伯耆町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
69	鳥取県西部広域行政管理組合営うなばら荘の廃止に伴う財産処分に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
70	伯耆町教育委員会教育長の任命について(箕浦昭彦)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	退席	○	-
71	伯耆町教育委員会委員の任命について(濱田真代)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
72	伯耆町過疎とみなされる区域に係る過疎地域持続的発展計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
73	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
74	伯耆町公の施設に係る指定管理者の指定について(ささふく水辺公園)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
75	伯耆町公の施設に係る指定管理者の指定について(伯耆町清掃センター)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
76	伯耆町公の施設に係る指定管理者の指定について(伯耆町立小規模保育所こどもパル)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	-
77	令和3年度伯耆町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
78	令和3年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
79	令和3年度伯耆町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
発議案第7号	新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	-

(※) 勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

(※) 杉原良仁議員は欠席。

みんなが知りたい

全員協議会

令和3年11月30日、12月13日に行われた全員協議会では、町執行部からの説明を受け、議会協議を行なった。

●伯耆町過疎とみなされる区域に係る過疎地域持続的発展計画の策定について（説明）

- 園＝候補者・楽楽福水辺公園管理委員会
- 施設＝伯耆町清掃センター＝候補者・有会社アリオン

●令和2年度までの伯耆町過疎地域自立促進計画を基本とし、地域の現状に合わせた見直しを行い、計画を策定する。

- 施設＝伯耆町立小規模保育所こどもパル＝候補者・社会福祉法人伯耆町社会福祉協議会

●過疎指定地域・溝口地域（旧溝口町全域）
計画期間・令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）

●第3次伯耆町人権施策推進計画素案（説明）

3月に第3次伯耆町人権施策推進計画決定・好評予定。

●伯耆町公の施設に係る指定管理者の候補者の選定結果について（報告）

●令和3年度伯耆町職員採用試験結果について（報告）

●施設…ささふく水辺公

令和4年4月1日採用



第13投票区投票所

内定者は、保育士1名・保健師1名。
伯耆町職員採用試験合格者は2名。

●投票所投票時間繰上げについて（報告）

令和4年度より本町で実施する全ての選挙に係る全投票所の投票時間を午前7時から午後7時までとする案の報告。

①現状

選挙当日午後8時まで投票できるのは、3箇所
の投票所の住民に限定されている。

近年の期日前投票制度の普及もあり、午後7時から午後8時までの投票

率は当日投票者の2%前後と少なく、開設時間を1時間繰上げて投票環境に支障はないと考える。

②取組効果

●全有権者の投票機会が均一となり、構成公平な選挙が実現できる。

●投票立会人の負担軽減になる。

●開票開始時間を早めることができ、人件費削減が見込まれる。

●令和3年度榎水高原スキー場営業の休止について（報告）

冬季閉鎖中の対応

○スキー場

●榎水フィールドステーション前、ゲレンデ下部道路沿いに立入禁止看板を設置。

●榎水フィールドステーションは営業中止。

●施設管理のため、入口まで除雪を行い定期的な点検を行う。

●緊急時に圧雪車が出動できる体制を整える。

●圧雪車庫庫前の除雪を行う。

●伯耆町岸本保健福祉センター改修工事設計の概要について（説明）

老朽化した伯耆町岸本保健福祉センターについて、耐久性を高めるため不具合箇所等の修繕に加え、建物の機能や性能を向上させる改修工事を行う。

●鳥取県西部広域行政管理組合から依頼のあった、令和14年度供用開始予定の一般廃棄物処理施設の整備に係る一次調査対象地の抽出調査の結果について（説明）

町道除雪を行う事業者が除雪基地の整備を行うのに当たり、大原企業用地の一部を売却することについて協議。

●大原企業用地の売却について（協議）

【最終処分場の一次調査対象地】
環境保全、法的規制、物理的制約（学校・病院・住宅群から300m、水道水源の近接地及び直上流、砂防指定地、土石流危険区域等）を満たす適地は無かった。

【最終処分場の一次調査対象地】
環境保全、法的規制、物理的制約（学校・病院・住宅群から300m、水道水源の近接地及び直上流、砂防指定地、土石流危険区域等）を満たす適地は無かった。



除雪作業

みなさんからの請願・陳情は次のとおりとなりました

請願・陳情に対する各議員の賛否（令和3年12月定例会）

陳情番号	議員名（議席番号順） 件名	結果	大床	上田	片岡	長谷川	杉本	乾	永井	杉原	一橋	渡部	細田	幅田	大森	勝部
			桂介	博文	千明	満	大介	裕	欣也	良仁	信介	勇	栄	千富美	英一	俊徳
陳情第9号	放射線廃棄物を生む原子力発電の停止を求める意見書提出に関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	○	○	-
陳情第10号	鳥取県内に放射線廃棄物の最終処分場を建設させない議会決議のための陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	○	○	-
陳情第11号	新型コロナ禍による米危機の改善を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	-

(※) 勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。
 (※) 杉原良仁議員は欠席。

内閣総理大臣等に提出した意見書

新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書

コロナ禍における米の需要消失は令和元年（2019年）産米の過大な在庫を生み、令和2年（2020年）産米の市場価格は下落し、感染者拡大と自粛要請、さらに累次の緊急事態宣言の発令により、需要減少に歯止めがかからず、令和3年産米も販売不振と米価下落が続く状況となっている。下落の状態が続けば、大規模経営でも米作りから撤退することにつながりかねない。

コロナ禍により消滅した需要減少分は、国が責任をもって過剰在庫を市場隔離すべきであって、政府による特別な隔離対策が絶対必要である。

コロナ禍の中、各地で取り組まれているフードバンクには食料などを求めて多くの方が参加されている。かつてない危機的事態の中で、苦しむ国民と農家への支援のために、従来の政策的枠組みにとられない対策が緊急に求められている。

よって政府に対し、下記事項について要望する。

記

- 1 コロナ禍で生まれた市場に滞留する在庫を政府が買い上げ、市場から隔離し、需給環境を改善するとともに米価下落に歯止めをかけること。併せて、政府が買い上げた米を、コロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食糧支援制度を創設し需給するとともに、海外援助の拡大に活用すること。
- 2 国内消費に必要な外国産米（ミニマムアクセス米 現在77万トン）は輸入数量制限を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月14日

鳥取県西伯郡伯耆町議会

〈提出先〉
 内閣総理大臣
 農林水産大臣
 文部科学大臣
 厚生労働大臣
 外務大臣
 様

皆様からの伯耆町議会へのご意見お待ちしております!!



② 「議会議事事務局」ページ項目の最下部、「オンラインによるお問い合わせ、ご意見はこちら」をクリック。



① 伯耆町ホームページから、「議会の情報」をクリック。

議会へのオンラインによるお問い合わせ、ご意見はこちら

総務経済常任委員会 活動報告(最終報告)

調査事項 日光地区協議会、二部地区活性化推進機構の活動状況について

調査委員…乾 裕、上田 博文、幅田 千富美、大森英一、細田 栄、永井 欣也、片岡 千明

議会改革調査特別委員会 活動報告

調査事項 タブレットの導入、大規模災害時の議員対応方針の検討

調査委員…全議員

総務経済常任委員会では、7月1日、7月26日、7月29日に役場企画課、日光地区協議会及び二部地区活性化推進機構の皆さんとの意見交換会を行い、その後10月18日、19日には日光及び二部地区で活躍されている団体の皆さんと活動状況や今後の課題などについて意見交換を行いました。

総務常任委員会では、両地区の皆さんからの意見を取りまとめ、12月13日開催の全員協議会で次の通り報告しました。



日光地区での意見交換会

令和3年度総務経済常任委員会現地調査報告書

○調査目的 近年、少子高齢化や空き家対策が叫ばれるなかで、伯耆町の中でも高齢化比率の高い日光・二部地区に対する協働の町づくり支援事業に係る活動状況及び今後、集落を維持していくうえでの課題について調査を行った。

またコロナ感染症拡大による人的交流の制限がどのような影響を与えているかについても現地調査を行った。

○調査のまとめ 日光・二部地区とも少子高齢化、過疎化も進み、空き家が増えている状況の中、集落の維持管理や役員の確保も難しいという深刻な声が多く聞かれた。特に高齢化率が50%を超えた日光地区においては、農地や水路の維持管理が喫緊の課題となっている。さらにコロナ感染症拡大の影響により長年続けてきたイベントや行事の多くが中止となり、コロナ終息後においても中止されたイベントの再開を危ぶむ声も聞かれた。

一方、両地区の特色として、二部地区は、二部小学校等の地域の子ども達や公民館教室、二部地区活性化推進機構のそれぞれの団体が地域内のイベントと一緒に参加し交流することでお互いが連携、協力し合う関係にあり、地域の繋がりの強さを感じた。

また、日光地区においては、集落が点在しており、集落間のつながりは若干希薄だが、自然環境に魅せられて、町外からの移住定住者も多いこと、2つの大学との交流事業を行っていることなど、今後の交流の広がりが期待されることである



二部地区での意見交換会

○調査協力団体等

- ・ 役場 企画課
 - ・ 日光地区協議会
 - ・ 二部地区活性化推進機構
 - ・ 日光、二部公民館長
 - ・ 日光、二部集落支援員
 - ・ 添谷を元気にしよう会
 - ・ 日光山菜会
 - ・ 日光地区移住者代表
 - ・ 大学との交流会代表
 - ・ 二部地区だんだんプロジェクト
 - ・ 二部地区つくしの会
 - ・ 活性化機構歴史ガイド部
- 調査にご協力いただき、ありがとうございます。



大山町議会での視察研修

①タブレットの導入調査

○調査場所 大山町議会

○調査日 令和3年10月14日

○調査概要

- ・ 令和3年度に20台導入。
- ・ 機種はiPad Pro (12.9インチ)
- ・ 初期導入経費32万円 (タブレットはリース)
- ・ 運用経費 145万円/年
- ・ 利用方法 町から議員へ貸与し、自宅への持ち帰り利用も可能。議案資料をデータ化し、本会議、全員協議会及び委員会でも活用。

②大規模災害時の議員対応方針の検討

12月9日の特別委員会において、大規模災害発生時に各議員がどのように行動するのかを検討し、伯耆町議会災害対応要領の素案をまとめました。今後、この素案を町執行部と協議し、あわせて、令和4年度から大規模災害発生時の議員の行動マニュアルも策定する予定です。

- ・ メリット ペーパーレス化。議案などの資料配布の効率化。大量文書の保存。一斉メール等による情報共有が容易。
- ・ 課題 各議員の操作技術対応。議会内でのWi-Fi環境等の整備。機器使用規定等の整備。

○本委員会での導入方針
令和4年度に導入に向けて予算要求する。

一般質問 町政を問う!

一般質問とは、議員が町長等(執行機関)に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

8人の議員が一般質問を行いました。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

令和3年12月7日 開催

ページ	主な質問事項	質問議員
8	1. 伯耆町における若者世代(10代~40代)の投票行動は 2. 教育環境について(GIGAスクール)	渡部 勇 
9	1. 原油高騰で町民への緊急支援策について 2. 特殊詐欺を防ぐ電話機や装置の購入時の補助金について	乾 裕 
10	1. 令和4年度当初予算編成方針について 2. 看護師、保育士、介護士等の処遇改善について	細田 栄 
11	1. ヤングケアラーの本町の状況及び支援策は 2. 中学校運営について	大床 桂介 
12	1. 持続可能な農業経営について 2. 人権条例の改正について	大森 英一 
13	1. 原油高騰の影響を受ける町民と事業者の支援について 2. 中学校制服購入補助制度の創設と実施について ほか	幅田千富美 
14	1. 持続可能な地域の創生について 2. 目指す教師像について	永井 欣也 
15	これから注力して着手していかなくてはならない政策は	杉本 大介 

スマートフォンなど携帯電話で一般質問の映像が流れるyoutubeの二次元バーコードはこちらです。



町政を問う

若者世代における投票行動は

選管事務局長 若者世代10代の投票率は34.41%でした

選管事務局長 平成17年が77.71%、今年の総選挙投票率は67.31%となっています。

渡部 総選挙において全国の投票率推移は平成2年の投票率は73.31%、平成29年の投票率は53.66%、伯耆町の投票率の推移は。

選管事務局長 10代の投票率は34.41%でした。

渡部 4月には町議会議員選挙、そして、10月には総選挙があり、選挙の年となりました。4月の町議会議員選挙の10代の投票率は。



渡部 勇 議員



ユーチューブ動画はこちらから



投票所受付

渡部 シチズンシップ教育の現在の状況は。

教育長 必要であるという認識である。また、本町の学校教育の基本目標であります、社会の一員

GIGAスクール構想の目的と使命は

教育長

社会のあらゆる場面でのICTを日常的に活用できるようにする

として、自立して生きていく児童・生徒の育成にも盛り込んでいく。そして、町教育委員会としては今後も町内学校におきまず支援者教育の充実を図りたい。

渡部 ICTを活用した授業の現在の状況は。

教育次長 電子黒板については、85%の教員が使用している。その内、72%がほぼ毎日使用している、また、タブレット端末については60%の職員が週数回使用している。

渡部 ICTを活用した学習で、できる子、できない子の差はどうするか。

教育次長 十分な定着が見られない場合は当然必

要な支援を行う。

渡部 この学習における教員のスキルに差異があつてはならないが課題は。

教育次長 経験年数との違いがあり、ICT活用能力のみならず状況の違いがあることはやむを得ないが本町ではICT支援員を配置している。



八橋小2年生との交流学習

町政を問う

第3回ガソリン券等購入助成券の配布と増額を

町長 国の経済対策を注視し前向きに検討したい



第2回ガソリン券

乾 昨今、原油価格が高騰し、ガソリンや灯油などの燃料が値上がりしている。これから冬季を迎え暖房等の灯油の需要期を控え、町民の生活や地域経済への打撃が懸念される。



乾 裕 議員



ユーチューブ動画はこちらから

今まさに3回目のガソリン券の配布の期待が高まっている。国の支援の動きと連携し、これまでの1万円に上乘せし、増額を求めたい。

を求めたい。

町長 第2回のガソリン券の使用期限が令和3年12月末までである。今、国も臨時国会でコロナ対策に関わる経済対策が提案されておりそこを注視している。評価をいただいていることは確実にあるので前向きに検討したい。

乾 第1回の利用状況は、3,808世帯に38,080枚を配布。利用枚数は36,757枚で、利用率は96.5%だったが第2回目の状況は。

町長 現在で約80%と承知している。

町長 今年度は、県の予算措置が終了しており実

乾 鳥取県警によると、令和3年8月時点における、県内の特殊詐欺被害額は約7,638万円であり、前年同期と比較して大幅に増加しており、深刻な事態となっている。こうした状況を踏まえ、令和2年度鳥取県消費者被害防止のための通話録音機能付電話機等購入補助金事業に準じて、本町単独事業として実施されてはどうか。

特殊詐欺を防ぐ電話機や装置の購入補助金を現時点では追加の対策は考えていない

乾 被害防止の観点から必要ではないか。

乾 県内では非常に被害が出ている。本町での実害はあるか。

町長 特殊詐欺を正しく理解していただくことの啓発を現在ケーブルテレビや防災無線などで呼びかけている。さらに犯罪防止の観点で県下全体で

住民課長 本町における実害の報告は聞いていない。



町政を問う

令和4年度予算編成方針について

町長 新型コロナ対策の出口・経済対策も実行する



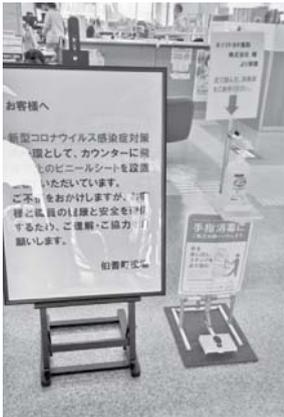
細田 栄 議員



ユーチューブ動画はこちらから

細田 令和4年度の当初予算編成時期になったが特に政策課題となつている、新型コロナ対策と人口減少、空き家対策について、具体的な施策はどのようなものが考えられているか。

町長 新型コロナ対策の出口として感染予防は勿論、経済対策にも力を入れたい。人口減少対策については、健康づくり、がん健診、認知症対策など教育福祉の充実を図り魅力的な町づくりに努める。



コロナ注意

空き家対策については、強制代執行なども視野にいれて取り組みたい。

細田 政府においては看護師、保育士、介護士等の賃金アップが検討されているが、本町の該当職員に影響はあるか。

福祉課長 町職員については該当しない。従来的人事院勧告による給与改定となる。

細田 町内事業所で働く方、通勤する多くの該当

新型コロナによって失われたコミュニティの回復

町長 公民館活動・高齢者教室など 感染防止をしながら再開

職員の期待は大きいと思われるが町として普及推進に努められないか。

町長 国の制度に基づいて取り組まれるため直接的な関与はできないと思われるが、町に相談等があれば対応したい。

細田 緊急事態宣言やまん延防止等措置区域に該当しない場合はイベント、各種集会等の開催又は中止、規模縮小などは主催市町村や主催団体の判断にゆだねられているか。本町はどのような基準により決めているか。

町長 実施や中止、人数制限等については、そのとおりの主催者の判断による。

本年の感染者が多かった夏から秋にかけて、伯耆町の感染者情報が一切

入らなかつたいつ、誰が、どのように感染したのか全く解らなかつた。

このため町ではイベントや人が集まる行事について、関係者が集まって対策会議により決定している。

不特定多数が集まるイベントの中止、茶菓を伴うものの中止、重症化リスクの高い高齢者が集まるイベント等の中止を決定した。

教育長 国より厳しい基準により規模縮小、中止などを決めている。

細田 失われたコミュニティを回復するために、今後どのような取り組みを考えているか。

町長 3回目のワクチン接種、治療薬の実用化など予防に努めながら徐々

に日常を取り戻したい。新型コロナは現在、感染症法第二類に分類されており、第五類のインフルエンザ並みにならないと回復は難しい。

教育長 新型コロナ自粛中は公民館だよりの発行や、徐々に高齢化教室の再開、コミュニティスクールの再開など工夫しながら実施している。



ゆうあいパルのプール

町政を問う

ヤングケアラーについての認識は

町長 過酷な役割を与えられている状況があるので重く見ないといけない



大床 桂介 議員



ユーチューブ動画はこちらから

町内中学校の運営管理について

教育長 生徒数・クラス数の差によるプログラムの違いはない

大床 ヤングケアラーについて文部科学省は実態調査を行い、令和3年3月に報告をしている。20人に1人、1クラスに2人程度いると報告している。ヤングケアラーについて町長の認識を伺う。

大床 ヤングケアラーの把握方法と状況は。

支援に関しては、悩み相談や福祉サービスにつなげる支援がある。

大床 溝口中学校と岸本中学校の教職員の人数の差異、生徒数の違いによる授業やプログラム実施あるいは生徒の成績などに差はないか。

大床 生徒数の今後の見通しについてはどうか。

福祉課長 ヤングケアラーの状況は福祉課で所管しており、要保護児童対策協議会に相談があったケースとして把握している。現在、1ケースについて支援対応している。

教育長 日頃から子どもたちの言動から、ちょっとした変化を見逃さないようにしている。教員の研修も指導部会で実施したところであり、毎年実施することが望ましいと考えている。

教育長 生徒数・クラス数の差によるプログラムの違いはない。教員が少ない学校の場合、教員が他校と兼務する場合もある。成績などに差は出ていない。

教育長 現在の出生数から推測すると令和3年度溝口中学校生徒数74名から令和6年度までは少しずつふえて92名に、令和7年度から5名程度減少していくのではないかと推定している。

町長 就学段階にある児童・生徒が家族の世話をするとという過酷な役割を与えられている状況があるので重く見ないといけない。

大床 ヤングケアラーの理解についての取り組みおよびその支援・相談窓口については。

教育次長 ヤングケアラーを把握した場合の報告の流れを作っている。生徒に教員への相談を促すようにしているが、教員に相談しにくい場合は県の相談窓口などを必要があれば紹介するようにしている。ライン相談窓口などの情報提供をしていきたい。

福祉課長 要保護児童対策協議会のメンバーである小・中学校校長とヤングケアラーについて共通認識している。小・中学校に相談窓口周知のためのポスター掲示を行っている。今後、生徒の理解を深めるためのミニ講座の実施を予定している。

※ ヤングケアラーとは
家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。

教育次長 ヤングケアラーを把握した場合の報告の流れを作っている。生徒に教員への相談を促すようにしているが、教員に相談しにくい場合は県の相談窓口などを必要があれば紹介するようにしている。ライン相談窓口などの情報提供をしていきたい。

勉強したいのにご飯作らなきゃ...
うん、ありがとー... お手伝いしたいわ、がんばれ!

その会話 SOS かも しれません

相談してください、あなたの悩み 名乗る必要はありません

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どもをヤングケアラーと呼びます。ヤングケアラーの6割は自分の悩みを相談したくてもできないと感じています。

米子児童相談所 ヤングケアラー相談窓口 TEL 0859-33-2020 平日 8:30~17:00 (土日・祝日を除く)

下記の期間でヤングケアラーLINE相談窓口が開通されています
期間 令和3年10月25日(月)~令和4年2月28日(月)
時間 18:00~23:00(土日・祝日を含む)

上記期間以外の相談は、相談期間内でLINEにてお返事します。相談内容はあなたの許可なく、あなたに特定される形で誰かに伝えられることはありません。

LINEQRコード

米子西
高等学校3年生
作製・資料提供

町政を問う

可動堰修理費等農家の負担軽減策は

町長 持続可能な最善策を模索する



町内の動かなくなった可動堰

産業課長 ラバー堰2施

大森 耐用年数を越えた施設の修理頻度は。

産業課長 転倒堰が3ヶ所、ラバー堰が4ヶ所あり、耐用年数は、45年、30年。耐用年数超はラバー堰で2ヶ所あり、40年を超えている。

大森 町内にある可動堰の数と耐用年数、そして耐用年数を越えた施設は何か所か。



大森 英一 議員



ユーチューブ動画はこちらから

定期点検、オイル交換、破損修理など。使用目的は農業用水、生活用水となっている。管理費の割合は分からない。

産業課長 管理内容は、

大森 7ヶ所可動堰の維持管理内容、使用目的、農業売り上げに対する管理費の割合はどうか。

設で一つが平成14年度以降4回、もう一つが平成18年度以降10回となっている。

大森 本町人権条例の役割として上位法の具体

教育長 社会規範を醸成する基になるものは、法令や条例である。

大森 条例には、社会規範を醸成する役割があると考えますが、所見を伺う。

町長 大規模施設の負担の増大が懸念される。調整水田とか、新しい水利施設に転換するなど、持続可能な方策の実証に向けて、調査研究の必要性を内部で話しており、次年度に対応したい。

大森 可動堰の修理費や調査費が高額で、施設管理者の構成員である農家の負担、リスクが大きいのではないかと。負担軽減策が必要ではないか。

大森 本年9月27日に「被差別部落の地名リスト訴訟」の有罪判決(控訴中)があつたにも関わらず、ネット上では判決趣旨に反する行為が後を絶たない。こうした行為に対し、本町の町民が被害者にならないために、早急に審議会に諮問し、条例

教育長 本条例は、平成17年に制定後16年経過しており、その間、人権に関する法律も整備されており、上位法との整合性を図る時期に来ている。

大森 化と実効性が求められるが、条例の内容は十分か。

教育長 平成17年に制定した条例は、現状にそぐわない面もあり、審議会ですっきり審議し、改正の方向で考えている。

教育長 改正を急ぐべきではないか。



12月5日に開催された人権フォーラム

人権条例の改正が急がれる

教育長 改正の方向で審議会へ諮問する

町政を問う

原油高騰の影響を受ける町民と事業者への支援を

町長

今後、国・県の動向をみながら検討



町内の給油風景

町長 地元事業者等の聞きとりをしているが、今後、注視し、国・県の動向をみながら検討していきたい。

幅田 原油高騰の影響に対し、福祉灯油と全世帯にガソリン等、購入助成券第3弾の実施をすべきではないか。



幅田 千富美 議員



ユーチューブ動画はこちらから

担当課長 西部農協 30

幅田 コロナ禍の影響で米価が大暴落、本町は約1億7,000万円の減収が確定されているが、政府に、備蓄米の緊急買上げ、県に米価応援金を求めることや、町独自支援が必要ではないか。

教育次長 新入学生説明会、学校検診時に周知と日頃から困っている家庭への声かけをしている。

幅田 就学援助制度の周知徹底と併せて、中学校入学時必要な制服は全支給できないか。

町長 備蓄米買上げなどについては国会での審議を求める。町は町村長会など通じて声を届けている。

kg当たり1,000円支援で1,000円、1,300円減少。大きな影響があるが、経営収入保険や農業収入保険で減収分の八割は補填される。年末つなぎ資金を農協と県で準備、対応されており、町では、保険料かけすて農家負担分を支援するため補正予算化した。

教育次長 財源に限りあり考えていない

中学校制服購入補助制度の創設を

現時点では町の財源に限りがあり、考えていない。

幅田 特別障害者手当の受給促進について厚労省通知二〇一六・九・二八付二では障害者手帳なくとも、かかりつけ医の証明で受付可としている。特別に困難をかかえる該

当者に、今ある制度を活用し、支援できないか。

担当課長 申請主義であり、家族にはわかりにくいので、介護支援専門員、民生委員等、支援者の人に制度の周知を図りたい。



岸本中学校

町政を問う

地方創生に向けた分散型の国づくりについて

町長 官民連携の総力的取り組みのうねりを期待



永井 欣也 議員



ユーチューブ動画は
こちらから

永井 去る11月17日、全国町村長大会が開催された。16項目の決議と11項目の重点要望の中で、本町のこれからの姿を思い、重要と考える項目について町長の考えを伺う。

町長 まず、東京一極集中を是正し、地方創生に向けた分散型の国づくりを推進することに伺う。

町長 これからの国の在り方として重要。デジタルの活用によって、分散型の情報社会をつくることが入り口になると思う。官民連携の総力的な取り組みが進むよううねりを期待したい。

永井 保育サービスの持続的な提供、教育、子育て環境の充実について伺う。

町長 基本的な住民サービスの充実として取り組んできた。今年度はコロナの影響があるが、評価は出生数や合計特殊出生率の数字となって表れている。

永井 地域のデジタル化における人材の育成や拠点の整備について伺う。

町長 本町では宅内まで光ファイバーを引き込むなど、基本的な整備を終わっている。引き続きソフトの充実に努め、肩の荷を軽くするような取り組みを進めたい。リモートワーク、ワーケーションの拠点モニターツアーも高い評価を得ている。

永井 過疎地域を抱える本町に多様な関わりを持つ関係人口拡大に向けた取り組みの推進について伺う。



充実したリモートワークスペース(ロイヤルホテル大山1階)

町長 他の自治体と比較されたとき、本町が遜色ないような形の行政施策を展開する。また、魅力ある地域づくりのために、民間事業者が事業展開しやすい関係づくりに努めたい。

永井 本町の総合計画や教育振興基本計画の中で「教職員の指導力の向上のための研修の充実」が

教育長

何と言っても

子どもが大好きな教師

魅力ある教師像とは

掲げられているが、指導力はどういうように向上し評価され、児童生徒への教育効果はどのようであったと捉えているか伺う。

教育長 様々な研修を行っているが、指導力の評価をデジタル化することは難しい。全国学力学習状況調査や標準学力調査でも全国平均を上回る結果となっていることは、研究、研修、実践の積み重ねの成果と考える。

永井 LINEの「高校生になりたい職業」アンケートで、教員・教授が男子で1位、女子で2位。「魅力ある先生」に出会えたことが教師を目指す一つの要因であったことが窺える。教育長が考える「魅力ある教師像」について伺う。



小学校教育研究会部会発表(二部小学校)

教育長 私見で3点述べますが、1点目はどの子にも分け隔てなく指導ができる教師。2点目は授業がうまい教師。このような教師の共通点は、子どもとのまなざしの共有ができる。肯定的な評価ができるということ。3点目は私が一番大切だと思っていることで、子どもが大好きだという教師です。

町政を問う

新政権となり、町としてこれから着手していかなくてはならない政策は

町長 とにかく新型コロナウイルス対策が第一



杉本 大介 議員



ユーチューブ動画はこちらから

杉本 今回の総選挙結果に対する全体としての感想や、新政権に期待するところは。

町長 政権選択の選挙なので、安全保障など国の在り方というようなテーマが本当は大事だろうが、コロナ禍で経済や感染防止をどうやっていくのか、国民生活に密着したテーマにならざるを得なかったのかなと思う。そういった状況で、変革という期待はもちろんあったと思うが、安定性や継続性を重視するとか、一気に変えるというより着実な前進をするというような事が、今回の総選挙の結果の印象として持っている。

今よりも感染が落ち着き、なおかつ経済も復興の軌道に乗せられるような流れをどう作っていくのかというのがしばらくのテーマ。

杉本 国の掲げる『コロナ克服・新時代開拓のための経済対策』等を受け、本町はどのように段階的に取り組んでいくのか。

町長 現段階では新型コロナウイルスの対策が第一。まずはそれを克服しないと、次に何やってもまた元に戻ってしまう。町民のみなさんへ感染予防を継続してお願いしながら、3回目のワクチン接種について、その意義や大事さを正しく理解していただきながら行っていく。

それから、「デジタル田園都市国家構想」について、新しい資本主義を地方からということやデジタルを基本ツールにしていくというのには正しいと思う。

大事にしたいのは、新しい資本主義の主役は地方だという所信表明の部分。町側としても、しっ



ワクチン、治療薬の普及が急がれる

かり取り組んで、その自覚を持たないといけないと思っっている。

杉本 コロナ禍による不景気、社会不安、ストレスから脱却しなくてはならない。それには経済政策ばかりでなく、住民のマインドを変えなければならぬ。感染症分類が5類

住民のマインドを変えなければ

町長 感染症の分類がインフルエンザ並みとなるのが出口

相当にでもなれば、世の中も大きく変わるのではと思うが、どう考えるか。

町長 濃厚接触者の特定、追跡調査、隔離等は全て行政措置としてこなすのはならない。そのリスクを国民全員が持っているのだからなかなか難しい。感染症の分類が（季節

性）インフルエンザ並みとなるのが出口だが、そのスケジューリングとしては、3回目のワクチン接種が進み、飲み薬が出まわって、通常の診療機関の中で対応できるようにすることだと思う。

ワクチン接種にしっかりと取り組んで、その諸条件の一つは役割を果たしたい。

感染症法に基づく分類と可能な措置	外出自粛要請	入院勧告	就業制限	無症状者への適用	交通制限
1類(エボラ出血熱・ペスト等)	×	○	○	○	○
2類(結核・SARS等)	×	○	○	×	×
3類(コレラ・細菌性赤痢等)	×	×	○	×	×
4類(狂犬病・マラリア・黄熱等)	×	×	×	×	×
5類(季節性インフルエンザ等)	×	×	×	×	×
新型コロナウイルス感染症・ 新型インフルエンザ等感染症	○	○	○	○	△

感染症分類表
○…可能
×…不可能
△…条件付きで可能



丸山別荘地の木工クラフト雑貨製作 「もりのこや」で一点物の手しごと



木工をきっかけに人の人生に触れる喜び
大山がもたらす作品との密接な関わり

ロイヤルホテル大山の近隣別荘地、新緑や白銀、四季折々の木漏れ日差し込む窓を眼前に、木の温もりを生かした木工などで雑貨をつくる西田智貴さん(61)と妻の草子さん(56)。心豊かなものづくり夫妻の想いに触れる。



西田さん夫妻の自宅ギャラリー

質問
これまでの経緯は。

西田さん 生徒に木工を教える教員に長らく携わっていた経験もあり、思いつき木工でものづくりをしたいと考えていました。倉吉市内の住宅地で生活をしていて、

登山やドライブ、天体撮影など、教員在職中にも通うように大山を訪れ、定年間近には大山の見える場所ですらしたいと移住を考え、日々。今の自宅物件と出会い木工に没頭できる立地に惚れました。一年は別荘のような使い方をしたが、やはり終の住処としての思いは強く、倉吉の家を売却し完全移住でここに辿り着きました。

質問
現在の活動は。

西田さん 自宅兼工房にて平日はものづくり、そして週末は予約制で一日一組のギャラリーにしており、インスタグラムなどSNSを通して県内外からの山好きのお客さんやクチコミで広がる方々に来ていただいています。山好きが高じてピッケル型フォークや登山バッグに馴染むスプーンなど遊び心のある一点物の作品作りに励んでいます。その中でも、ただ物を作って販売というお店とは違い、木工でできる相談ごと・困りごとのお話を聞き、それらを形にすることを幅広く展開しています。

質問
今後の展開は？

西田さん カタチの大きいものを作ってみたい。また、今と変わらず出逢う方々とお話を通して、さまざまな人生に触れ、オーダーを作ること。
皆が笑顔になるまち、そういったまちづくりのきっかけのひとつとして作品たちが役に立てば嬉しいです。



木の風合いを生かした作品



新緑に包まれる展望デッキ

編集後記

一年の始まりは清々しくチャレンジに前向きになります。我々議員も本誌の紙面改革に向かい、伝わりやすい構成へと議論から実行へ移す年となりました。紙面に対しての皆様のご意見も是非お寄せください。

さて、多くの町民の皆様には、コロナ禍に乱された日常を払拭すべく、ワクチン接種にご協力頂きました。年明け早々よりコロナ第六波が拡がりを見せていますが、ワクチン3回目接種に向かい、皆で一丸となり戦い勝ち抜きましょう。

【編集】

議会広報常任委員会

- 委員長 杉本 大介
- 副委員長 片岡 千明
- 委員 大森 英一
- 委員 長谷川 満
- 委員 上田 博文
- 委員 大床 桂介

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

